

2019年 トップに聞く

大成ロテック

西田 義則社長



18年を振り返って
市場環境は、20年の東京五輪に25年の大阪万博が加わり堅調に推移していると思う。ただ、製品部門の原油価格の高騰など、厳しい状況であった。

19年の展望
コンプライアンス遵守を前提に、更なる収益力の向上、働き方改革と生産性革命等を進める。本業の舗装・土木を強化するのは当然だが、新事業へも挑戦したい。安全、品質、環境、これらのトラブル防止は我が業界だけでなく、他産業におい

持続的成長の実現へ取組強化

今期は新たな中期経営計画の初年度でもあり、残る3か月を頑張り目標の達成を目指したい。

でも企業の根幹であり、足元をしっかり固める。また、大成建設グループのグループ連携を更に強化していく。

建協会長としても業界の模範となるべく行動しなければいけないと強く思っている。担い手確保に向け、「給与、休暇、

持修繕補修分野に力を入れる。また、製品事業における取扱製品の拡大を図っていく。PFIやコンセッションにも参画で

成から建物、道路、外構の一貫体制で行っていく。
海外事業
経済成長の著しい東南アジアについて、初弾としてベトナムを考えている。昨年11月に国際支社を設立し、ハノイに駐在事務所を置いた。これから現地法人、合弁会社という形で進んでいければと考えている。現地法人は今年4月の設立を目指す。

革
担い手確保と働き方改革
担い手確保は最優先の課題。長時間労働の是正、休日の確保など、あらゆる施策を進めていく。道

希望」の新3Kの実現に努めたい。
新事業と建築強化
本業で頑張るのは変わらない。更なる成長のため、新設の減少に伴う維

きたらと思っている。
建築事業については、昨年4月に建築部を立ち上げ、人員の強化を図っている。地域に密着し、S造の建物をメインに造

持